

ペドフィリア団 474 名一斉逮捕：外堀から中央へ迫るか？

Greatchain

2017/ 02/ 16

米カリフォルニアで、人身売買をする者たちを狙った州規模の一斉手入れがあり、474 人が拘束され、28 人の子供が救出されたというニュースが、いくつかの代替ニュースに、2 週間ほど前から出ている。その一つはこう言っている――

<https://twitter.com/LACoSheriff/status/826493643607269376/photo/1>

(これらは、27 人の成人と 28 人の未成年女子を救出し、36 名の人身売買容疑者と 142 名のいわゆる“ジョン”を証言した男女の功労官である)

「この一斉手入れは、人身売買と戦う州規模の作戦の一部として行われた、とロサンゼルス郡保安官庁は、火曜日、発表した。

「KTLA によれば、30 以上の連邦、州、および地方法執行機関などが、ロサンゼルス地域の対人身売買特別隊との合同で、第 3 回年恒例の“取り戻し建て直し”作戦に参加した、と保安官庁が発表した。

「この作戦は、142 名の男性の買春行為と、36 名の男性の売春あっせんを含む 474 名の逮捕者を出した。

「これらの逮捕者の中には、彼らと性的関係をもつ意欲のある別の成人に、金銭を払おうとしていただけの者も含まれることは、指摘しておかねばならない。

「自由のある国においては、セックスをカネで取引することは違法だが、その行為を映画や DVD として料金をとる場合は別である。アメリカで最も話題にならない抑圧の形の一つは、娼婦の迫害という抑圧である。

「売春ということについて肝要なのは、それは、2 人あるいはそれ以上の合意した成人による、カネによる性的好意の相互利益のことを言っているのであって、決して強制された人間の取引ではない。

「それを踏まえた上で言うが、この作戦行動中に、係官たちが救出した 28 人の子供たちは、性的に搾取されていて、性的取引の一方的犠牲者として、27 名の成人たちに奉仕していたものである。これらの犠牲者は、自由意志の過程で生じたものでなく、彼らの合意なしに、これらの病的な者たちによって、商品として売られ買われた者であった。

「企業メディアが、“ピザゲイト”のことを、あたかも起こりえない、何か紙細工の陰謀論であるかのように言って一蹴するとき、この現実物語は、彼らの主張をずたずたにする。実際、ロサンゼルス郡保安官の Jim McDonnell は、この逮捕において、〈我々が扱っている状況が、いかにひどく悲しいものであるかが現れている〉と言っている。

「〈この問題が存在しないかのように言うのは、ただ、我々をより深くそこへ共謀させるだけだ〉と、新しく選ばれたサンディエゴ市法律顧問 Mara Elliott は言った。

まだ、これらの告訴には、ハイレベルの政府高官や法執行官が含まれているかどうかは未知だが、それが存在したという事実は無視すべきではない。12 月の最初と次の週の間、主流メディアが、ノースカロライナ州、ソールズベリーの Edgar Maddison Welch が、ワシントン DC の Comet Ping Pong ピザ店内で銃を発砲したことを初めて報道して以来、主流メディアは、いわゆる“ピザゲイト”児童セックス犯罪集団を、ウソに基づいた虚偽の陰謀論だと宣伝している。

「ウェルチは、ネット上で知った、ペドフィリアやワシントンのエリートに関わる物語に基づいて、“コメット・ピンポン店”の中に、子供セックス奴隷がいないか、探そうとしたのだと言われる。皮肉なことに、そして全く何の調査もなしに、クリス・ハンソン式のジャーナリズムによって、主流メディアとその大物幹部たちは、この陰謀論で言われているすべての主張を、“フェイク・ニュース”からつくり出された虚構であると宣言した。

「実際、ワシントン・ポストは〈そのすべては虚偽だった〉と簡単に決めつけた。ひょっとしたらそうかもしれない。しかし、それがカリフォルニアで、これほど大規模に起こり得るのであれば、それはアメリカのどこでも、確実に起こることができるだろう。そしてそのような主張のすべては、子供を巻き込むこのような道はずれた性犯罪を暴くのに必要な手段をもつ、しかるべく訓練された警察によって、徹底的に調査されなければならない。我々はカリフォルニア当局が、子供セックス犯罪集団を調査したことに対して拍手を送る。法の裁きが、子供たちを食べ物にする病的な者たちに、すみやかに及ぶことを願う。」

このほかにも、大規模な、世界的ペドフィリア犯罪団の検挙のニュースがある：——

大規模オンライン・ペドフィリア犯罪団、警察の手入れを受ける ——逮捕された 184 名の中に 5 人の米人、230 の虐待された子供たちが救出される

http://www.nbcnews.com/id/42108748/ns/us_news-crime_and_courts/t/massive-online-pedophile-ring-busted-cops/#.WKYkUIVOJjo



オーストラリア連邦警察の Grant Edwards (右)、英国子供濫用オンライン保護センターの Peter Davis (中央)、ユーロポル所長 Rob Wainwright (奥) が、水曜日、ハーグで行われた“救出作戦”記者会議で、地球的な子供虐待ネットワークに関連する大逮捕の詳細を語る。

「インターネットによる、7 万名の会員をもつペドフィリア犯罪団——世界最大と考えられている——が、警察によって暴かれた、と水曜日、さる安全保障高官が語った。

「ヨーロッパ警察局 (ユーロポル) は、ある声明で、“レスキュー作戦”は、670 名の容疑者を割り出し、30 か国の 230 人の虐待された子供たちが、安全に救出されたと話した。さらにそれ以上の子供たちの発見が予測される、とユーロポルは言った。

「これまでに 184 名が逮捕され、何か国かで調査が続いている。拘束されている者たちの大多数は、子供たちの性的虐待に直接かかわっているものと疑われている。

「そこには、教師、警官、スカウト・リーダーなどがいる、と AP 通信は報じた。夏季青少年キャンプで働いていたあるスペイン人は、5 年間に 100 人ほどの子供を虐待した疑いをもたれている。

「ユーロポル所長のロブ・ウェインライトは、インターネット・フォーラムを使って通信するこの陰謀団は、〈おそらく世界最大の、オンライン・ペドフィリア・ネットワー

クだ)と言った。」

フェイク・ニュース

これはいったいどういう話か？　そもそも我々に対して、「フェイク・ニュース」などという、非難がどうして出てきたかという、フェイク・ニュースを宣伝して、なんとか世間を誑かしてきた米政府と主流メディア複合体が、本当のことを言う“不都合な”代替メディアを取り締まるために、彼らの常套手段である、自分の罪状をもって相手を咎めるという手段を使ったものである。何度も同じ比喻を使って恐縮だが、これは、スリを働こうとして見つかった瞬間に、「スリだー！」と大声を発するようなものである。被害者は一瞬、虚をつかれて目を白黒させるから、馬鹿げているが窮余の一策ではある。

「彼ら」、選挙に汚く負けた、“正統”政府・主流メディア＝クリントン、オバマ、ソロス側が、一番、触れてほしくなく、存在を認めたくないのは、“ピザゲイト”スキャンダルであった。だから彼らは、肝心のこの言葉（ピザゲイト）を発することなしに——存在しないから口にできない——ただ“フェイク・ニュース”を連発するのである。NHKでも民報でも、それを解説するときには、反トランプ“正統”政府側に立って説明するから、(特に日本の)何も知らない視聴者は、何か不気味な、悪意をもったものが徘徊しているかのように、感ずるはずである。

おいおい、いい加減にせよ。我々は推理小説を楽しんでいるわけではない。ひと言大きな声で**ピザゲイト**と言えば済む話である。大きな声だけでなく、**クリントン、オバマ、ソロスらの本拠地である悪の巣窟ピザゲイト**、と言わねばならない。こんな簡単なことはない。

今、ワシントンDCで発覚した、人身売買、ペドフィリア、子供の生贄のような悪習が、世界中に地下茎を張り巡らして存在することがわかり始めた。今のところ、トランプ大統領は記者との会議で、主流メディア側のフェイク・ニュースをやめるように、国民に真実を正しく教えるように、要望しているはずである。彼はやがて、世界的なペドフィリア、人身売買という大犯罪・大腐敗を、正面から取り上げなければならなくなるだろう。そのときになっても反トランプ陣営は、あくまで“ピザゲイト”は存在しないと言い張るつもりだろうか？　まさかそれはできないだろうから、彼らが考えるのは、一刻も早くトランプを消すことであろう。一日延ばすごとに、彼らの苦境は大きくなる。